

## 初等中等教育における観光教育の推進に関する協議会

### 1. 趣旨

観光立国を実現するためには、観光が「地方創生への切り札、成長戦略の柱」として、その裾野の広さと経済波及効果の大きさを活かし、日本の津々浦々で活力にあふれた地域社会を築いていくことが必要である。このためには、成長の早期の段階から、地域固有の文化、歴史、観光による交流の意義や経済的な効果等に関する教育を推進することにより、日本及び地域の愛着と誇りの醸成を図るとともに、観光の意義に対する理解を深めることが重要である。

これまで、小学校・中学校・高校（普通科・専門学科）の各段階で、観光教育に関する取組が行われているが、今後は、こうした取組みの全国への普及・展開を見据え、観光教育の意義をあらためて確認するとともに、目的・方向性を共有し、観光教育を普及するためのプログラム開発などに取り組むことが必要とされる。

以上を踏まえ、産学官の観光教育関係者が集い、観光教育の意義、目的・方向性、普及に向けた方策等を議論・検討ため、「初等中等教育における観光教育の推進に関する協議会」（以下「協議会」という。）を開催する。

### 2. 構成

- ① 協議会の構成員は別紙1のとおりにする。
- ② 協議会の座長は、互選により決定する。
- ③ 協議会には、構成員以外の関係者の出席を求めることができる。

### 3. 目的

- ① 観光教育の「意義」の共通認識の形成
- ② 各教育段階における観光教育の「目的」と「方向性」の相互共有・理解
- ③ 観光教育の普及に向けた効果的な取組み方策の検討

### 4. 分科会

協議会に、小中学校・高校（普通科）・高校（専門学科）の3つの分科会を置き、成長過程を鑑みた具体的な教育目的や具体的施策について検討する。分科会の構成員は別紙2のとおりとし、必要に応じて、構成員以外の関係者の出席を求めることとする。

### 5. 庶務

協議会の庶務は、観光庁において処理する。

### 6. その他

- ① 前各項に定めるもののほか、協議会の運営に関する事項その他必要な事項は座長が定める。

- ② 協議会の資料及び議事概要については、原則として公開することとする。ただし、特段の理由があると座長が認めた場合は、会議資料の全部または一部を公開しないことができる。

協議会委員名簿

(氏名五十音順・敬称略)

<委員>

内川 健	成蹊小学校 教諭
江藤 誠晃	株式会社BUZZPORT 代表取締役
大日方 樹	岩倉高等学校 教諭
勝瀬 典雄	関西学院大学 専門職大学院 経営戦略研究課 教授
河合 豊明	品川女子学院 教諭
穴戸 学	日本大学 国際関係学部 国際総合政策学科 教授
鈴鹿 剛	徳島県立 徳島商業高等学校 教諭
鈴木 俊博	特定非営利活動法人 TOSS 教育事業本部 本部長
高嶋 竜平	法政大学 国際高等学校 教諭
寺本 潔	玉川大学 教育学部 教育学科 教授
中野 憲	株式会社 JTB 教育事業ソリューションセンター センター長
中村 晃	公益社団法人 日本観光振興協会 常務理事
森下 晶美	東洋大学 国際観光学部 国際観光学科 教授
村上 和夫	立教大学 名誉教授

## 分科会委員名簿

(氏名五十音順・敬称略)

## 【小学校・中学校 部門】

内川 健	成蹊小学校 教諭
河合 豊明	品川女学院 教諭
高清水 英俊	宮崎県牡鹿郡女川町 教育委員会
寺本 潔	玉川大学 教育学部 教育学科 教授
手塚 美和	静岡県静岡市立清水有度第二小学校 教諭

## 【高校（普通科） 部門】

高嶋 竜平	法政大学国際高等学校 教諭
中村 太悟	学校法人希望が丘学園 鳳凰高等学校 教諭
村上 和夫	立教大学 名誉教授

## 【高校（専門学科） 部門】

大日方 樹	岩倉高等学校 教諭
大屋 泰彦	沖縄水産高等学校 教諭
北村 由美	金沢商業高等学校 教諭
宍戸 学	日本大学 国際関係学部 国際総合政策学科 教授
鈴鹿 剛	徳島県立徳島商業高等学校 教諭

## 【全体の調整役】

宍戸 学	日本大学 国際関係学部 国際総合政策学科 教授
------	-------------------------